

## 食料経済学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 上岡美保

### ◆学習・教育目標

本講義のねらいは、食料経済学特論Ⅰで修得した食料経済学の基礎的内容に加え、それらに関連する課題や分析方法を大学院生自らがさらに応用できる知識、調査・分析の技能を修得することを目標としている。

特に、食料経済研究に関するサーベイや社会科学的分析の手法、食料経済関連研究における社会的意義について検討し、論文執筆に向けた課題の設定方法、調査・研究の方法を習得する。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

食料問題                      環境問題                      農業問題                      フードシステム  
 食育                              論文サーベイ                      論文執筆法

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	食料経済研究の基礎（第1～2週）	・農業経済関連学術論文の紹介及び論文執筆に関する取り組み方について学ぶ	本講義のねらいは、食料経済学特論Ⅰで修得した食料経済学の基礎的内容に加え、それらに関連する課題や分析方法を大学院生自らがさらに応用できる知識、調査・分析の技能を修得することをねらいとしている。準備すべき事項は、配布された資料の予習復習やレジュメの作成、さらに常に自らの考え方を整理して、洞察力、分析力、プレゼンテーション能力を高めることが大切である。（毎回の準備・復習時間は、それぞれ1～2時間程度を目安とする）
2	フードシステムの変化と諸問題（第3～4週）	・フードシステム変化における食・農・環境の関わりと諸問題について理解する	
3	日本の食料問題と食育・食育基本法（第5～7週）	・食料問題と食育との関係／食育基本法成立の過程と内容について理解する	
4	食生活・食育・食品安全関連の社会科学研究（第8～10週）	・食育の効果、食品安全等に関するを社会科学的分析手法を学ぶ	
5	論文演習（第11～13週）	・食料経済及び食育に関する学術論文について学ぶ	
6	プレゼンテーション演習（第14～15週）	・講義で学んだ内容を踏まえ、論文のサーベイから調査・分析等を含めた研究計画について各自プレゼンテーションを行う	

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

必要に応じてプリント等を授業時に配布

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

食生活と食育（上岡美保）農林統計出版（2010年）

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

課題のプレゼンテーション（50%）、授業中のディスカッション（25%）、授業中の演習（25%）

### ◆オフィスアワー 金曜日 16:30～18:00

### ◆その他受講上の注意事項

授業の進行については一例であり、具体的には授業時に指示する。